

性の多様性を考える上映とトークショー

日時 6月3日(土) 14:00(開場 13:30) ~ 16:30

会場 杉並区立勤労福祉会館 第3・4集会室

参加費 1000円 事前申込制 (Peatix) <https://suginaminohate.peatix.com> QRコード

主催 杉並から差別をなくす会 https://twitter.com/NoHate_Suginami

お問い合わせ先 nakusukai.nohate@gmail.com

共催 市民社会フォーラム



最も危険な年

映画「最も危険な年」

トランスジェンダーの人口は1%未満。マジョリティの無知は、しばしば少数派への偏見や不安に結びついてきた。2016年米国ワシントンでは、トランスジェンダーのトイレ利用を制限する法案が議論されることに。

「トランスジェンダーは出生時の性別のトイレを使うべきだ」

そのような主張に対し、トランスジェンダーの子を持つ親たちが立ち上がる。

差別と戦う武器は、自分たちのありのままの物語を語ること。

日本でも広まりつつあるトランスヘイトの問題を考える上で必見のドキュメンタリー作品。

原題: The Most Dangerous Year 邦題: 最も危険な年

監督: Vlada Knowlton

時間: 90分 2018年 米国にて製作 音声: 英語 字幕: 日本語

ゲスト 時枝さん (トランスジェンダー女性)

瓦田尚さん (高校教員)

杉並区では4月から性の多様性条例が施行され、「性を理由とする差別等の禁止」が定められました。しかしながら、トランスジェンダーなど性自認をめぐる差別・偏見はまだ解消されておらず、いまだにヘイトスピーチが横行しています。

杉並から差別をなくす会は、性差別含めたあらゆるヘイトスピーチに罰則を科す条例を求める議会陳情署名を集めています。

トランスジェンダー差別の問題を考えるために、ドキュメンタリー映画「最も危険な年」の上映と、当事者やアライの方をお招きしたトークショーで、トランスジェンダーの「日常」や「リアル」な思いを中心にお話しいたします。



杉並区立寝勤労福祉会館

〒167-0034 杉並区桃井 4-3-2

電話番号 03-3301-0811

JR 中央線「西荻窪駅」(北口) 徒歩 15分

関東バス各線「桃井四丁目」下車徒歩 1分